

# Let It GoとJ-POPの翻訳をめぐる

レアリアによる中国語教育の一環として (5)

石 崎 博 志

はじめに

中国語教育では、歌詞を素材に使う講義がしばしば行われる<sup>(1)</sup>。こうした授業の目的は、歌詞の読解と翻訳を通して中国語学習者に日中間の言語や文化の差異を実感させることにある<sup>(2)</sup>。また、読解の訓練のみならず、翻訳の背景にある歴史的な事柄、同一の事象に対する観点の多様性を学習者に提示する意味もあろう。本稿の目的は、歌詞を使った外国語教育の一例を紹介し、その素材を提示することにある。

講義で使用する素材の一つは、映画『アナと雪の女王』(原題:Frozen、中国語題:冰雪奇緣)で使用される「ありのまま」(原題:“Let It Go”、中国語題:随它吧)である。この楽曲を使う理由は、その知名度の高さから学習者がメロディを想起しやすいこと、そして英語の原曲の歌詞を反映させる割合が日中両言語で大きく異なる点が挙げられる。この違いは訳詞を原曲のメロディに乗せる制約があることに由来するが、その要因を学習者に考えさせ、どのように翻訳するのが妥当かを試行錯誤させる意図も含まれている。

もう一つの素材は、いわゆる「桜ソング」である。同じ楽曲における訳詞において、盛り込まれる情報量が言語によって異なるという考察を踏まえ、日本を象徴する存在である桜<sup>(3)</sup>をテーマにした日本の歌が、中国や台湾などの消費者を対象とすることを前提としたカバー曲において、どのような変容を見せるのか、またその要因は何かを考察する。そして、別れの季節をめぐる日中間の違いや、日本の桜が、東アジアの歴史的文脈でどのような意味をもつのかを受講生に考えさせることを目的としている。講義では福山雅治の「桜坂」をカバーした蘇有朋(台湾)の《你快樂不快樂》(徐世珍填詞)、森山直太朗の「さくら(独唱)」をカバーした満文軍(大陸)の《再会吧》、張善為(台湾)の《真夏の櫻花》、および香港の蕭正楠《假如我是假的》粵語版・国語版を素材として用いた。後者の粵語版と

国語版の2つを採りあげるのは、粵語と普通話の音の違いや、語彙・語法の違いを楽曲や歌詞を通して学習者に体感させる意図も含まれている。

なお以降に挙げる中国語歌詞は、台湾や香港の歌手が当該地域で出している場合は繁体字、大陸の歌手が大陸で出している場合は簡体字を使用し、敢えて繁簡の統一を行っていない。

## 1 “Let It Go”

本章ではまずアメリカ映画『アナと雪の女王』で使用されている楽曲について、まず英語から中国語への翻訳について分析し、次に英語から日本語への翻訳をみる。その上で、中日両言語の翻訳に英語の原詞がどのように反映し、齟齬があればその要因を考察する。ここで原曲である英語歌詞を引き合いに出すのは、英語歌詞を比較基準として、日中の翻訳の違いを明確にするためである。

### 1.1 英語 “Let It Go” から中国語《随它吧》

ここでは、英語歌詞から中国語歌詞への翻訳を検討する。以下表1において英語の原詞とそれに対応する中国語歌詞を対比するが、相互に齟齬がある箇所については下線を引いて示している。なお、英語と中国語の歌詞の改行は、原曲のメロディの区切りを反映している。

表1 英語詞と中国語“普通話”詞の対照表

Let It Go	随它吧
The snow glows white on the mountain tonight Not a footprint to be seen.	白雪发亮今夜铺满山上 没有脚印的地方
A kingdom of isolation, and it looks like I'm the Queen	孤立的王国很荒凉 我是这里的女皇
The wind is howling like this swirling storm inside	风在呼啸像心里的风暴一样
Couldn't keep it in; Heaven knows I tried Don't let them in,	只有天知道 我受过的伤 别让他们

<p>don't let them see          Be the good girl you always have to be          Conceal, don't feel,          don't let them know          Well now they know          Let it go, let it go          Can't hold it back anymore          Let it go, let it go          Turn away and slam the door          I don't care          what they're going to say          Let the storm rage on.          The cold never bothered me anyway          It's funny how some distance          Makes everything seem small          And the fears that once controlled me          Can't get to me at all          It's time to see what I can do          To test the limits and break through          No right, no wrong, no rules for me,          I'm free!          Let it go, let it go          I am one with the wind and sky          Let it go, let it go          You'll never see me cry          Here I stand          And here I'll stay          Let the storm rage on          My power flurries through the air into the          ground          My soul is spiraling in frozen fractals all around          And one thought crystallizes like an icy blast</p>	<p>进来看见          做好女孩就像你的从前          躲藏          不让他们看见          已被发现          随它吧！随它吧！          回头已没有办法          随它吧！随它吧！          一转身不再牵挂          我不管          他们想说的话          任风吹雨打          反正冰天雪地我也不怕          这一点点的距离          让一切变精致          曾经困扰我的恐惧          会远离我回忆          现在开始让我看见          是我的突破和极限          不分对错没有极限          向前！          随它吧！随它吧！          跟风 and 天空对话          随它吧！随它吧！          眼泪不再掉下          这个家          让我留下          任风吹雨打          我力量从空气中扩散到地上          我灵魂盘旋在冰块各种不同          形状          我思想结晶变成锋利的闪光</p>
--	--

I'm never going back, the past is in the past	我永不回头看, 以往会被埋葬
Let it go, let it go	随它吧! 随它吧!
And I'll rise like the break of dawn	让我在曙光中升华
Let it go, let it go	随它吧! 随它吧!
That perfect girl is gone	让完美被蒸发
Here I stand	这个家
In the light of day	在阳光之下
Let the storm rage on	任风吹雨打反正
The cold never bothered me anyway!	冰天雪地我也不怕

表1から、“Let It Go”の英語から中国語への翻訳は基本的に忠実で、英語で使用される比喩までも中国語に反映させていることが分かる。ただ若干の齟齬も観られる。例えば、“I am one with the wind and sky”（私は風と空とともにひとつになるの）に対し、中国語では“跟风和天空对话”と訳し、「風と空と対話する」としている。これは英語原詞を直訳すると“跟风和天空在一起”となり、中国語で字余りとなってしまうことによる処理であろう。また“I'm free!”（私は自由）が“向前!”（前へ!）と訳しているのも、中国語に直訳すれば少なくとも“我”と“自由”という二つの語を使わねばならず、これに動詞を加えれば確実に字余りになってしまう。されどもこの2語だけでは意味が通じないため、“向前”と意識し、直訳することで生じる字余りを回避する意図があると思われる。

一方で、英語原詞には存在しない表現が中国語訳詞に反映されている例も観られる。中国語歌詞で追加された部分を下線で示し、その追加された歌詞の日本語訳を（ ）内で補うと以下ようになる。

- ・ A kingdom of isolation, → 孤立的王国很荒凉（荒涼としている）
- ・ I'm never going back, the past is in the past. → 我永不回头看, 以往会被埋葬（過去は埋葬される）
- ・ Heaven knows I tried → 只有天知道我受过的伤（私が受けた傷）

これらは A kingdom of isolation、the past is in the past という表現に対し、英語と中国語の表現の違いによる誤解を中国語バージョンで回避することや、隠れ

た意味（例えば“我受过的伤”）を補う意図があるものと思われる。

だが、誤解の回避や補足、あるいは音節構造の違いから削除や追加したとは思われない箇所もある。たとえば英語原詞の“no rules”（規則もない）に対し、中国語歌詞には該当箇所が反映されていない。その一方で、同箇所ですでに使われていない英語の“the limits”に対応する中国語“极限”が、中国語版では2度、繰り返されている。ここから“no rules”の訳を中国語に盛り込まなかったのは、字余りを回避しただけではないものと思われる。『アナと雪の女王』（《冰雪奇缘》）は、ディズニー映画という性質上、中華圏のマーケットにおいても未成年者が観ることが想定されている。そして子供が中国語歌詞を覚えて口ずさむことを念頭に入れ、中国において“no rules”の訳語を教育的配慮から意図的に取り除いたものと推測される。

## 1.2 英語“Let It Go”から日本語「ありのままで」

ここで英語原詞に対する日本語訳詞の検討に入る。以下の表2においては左に英語原詞、右にそのメロディに対応する日本語訳詞を掲げて比較する。ただ日本語訳詞は中国語ほどメロディと歌詞の対応がないため、英日の違いを敢えて示していない。

表2 英語原詞と日本語訳詞の対照表

Let It Go	ありのままで
The snow glows white on the mountain tonight	降り始めた雪は
Not a footprint to be seen.	足跡消して
A kingdom of isolation,	真っ白な世界に
and it looks like I'm the Queen	一人の私
The wind is howling like this swirling storm inside	風が心にささやくの
Couldn't keep it in;	このままじゃ
Heaven knows I tried	ダメなんだと
Don't let them in,	戸惑い、
don't let them see	傷つき
Be the good girl you always have to be	誰にも打ち明けずに
Conceal, don't feel,	悩んでた

<p>don't let them know          Well now they know          Let it go, let it go          Can't hold it back anymore          Let it go, let it go          Turn away and slam the door          I don't care          what they're going to say          Let the storm rage on.          The cold never bothered me anyway</p> <p>It's funny how some distance          Makes everything seem small          And the fears that once controlled me          Can't get to me at all          It's time to see what I can do          To test the limits and break through          No right, no wrong, no rules for me,          I'm free!          Let it go, let it go          I am one with the wind and sky          Let it go, let it go          You'll never see me cry          Here I stand          And here I'll stay          Let the storm rage on</p> <p>My power flurries through the air into the ground          My soul is spiraling in frozen fractals all around          And one thought crystallizes like an icy blast          I'm never going back, the past is in the past</p> <p>Let it go, let it go          And I'll rise like the break of dawn</p>	<p>それももう          止めよう！          ありの！ままの！          姿見せるのよ          ありの！ままの！          自分になるの！          何も！          恐くない！          風よ吹け          少しも寒くないわ</p> <p>悩んでたことは          嘘みたいで          だってもう自由よ          何でも出来る！          どこまでやれるか          自分を試したいの          そうよ、変わるのよ          私！          ありの！ままで！          空へ風に乗って          ありの！ままで！          飛び出してみるの！          二度と！          涙は！          流さないわ</p> <p>冷たく大地を包み込み！          高く舞い上がる 思い描いて！          花咲く氷の 結晶のように！          輝いていたの もう決めたの！</p> <p>これで！いいの！          自分を好きになって！</p>
--	--

Let it go, let it go	これで！いいの！
That perfect girl is gone	自分信じて
Here I stand	光！
In the light of day	浴びながら！
Let the storm rage on	歩き出そう！！
The cold never bothered me anyway!	少しも寒くないわ

この対比を踏まえて以下に英日の歌詞を、「歌詞の内容」と「比喩の反映」という 2 点から考察する。まず日本語訳詞の内容をみると、英語原詞が日本語では忠実に反映されているとは言えず、歌詞の「情報量」としては日本語訳詞の方がずっと少ない。英語原詞の前半部分で削除されているのは、they、them が使われている箇所 (Don't let them in, don't let them see, don't let them know, Well now they know) があげられる。これらは家族や親しかった人々を示す「彼ら」(they と them) からエルサが一線を引くことを宣言している (Turn away and slam the door, I don't care what they're going to say)。英語歌詞は、第 1 番で家族を含む過去との決別を示し、第 2 番で自由を謳歌する意思へと主題が移るが、日本語詞には過去との決別の部分をおおむね切り捨てているといっても過言ではない。こうして特定の内容を削ることで日本語をメロディに乗せる工夫がされている。よって日本語訳詞のみをみると、英語原詞や中国語訳詞に比べて葛藤のない前向きな印象を与える。

次に英語の比喩表現に着目する。総じて英語の比喩表現に対しては、日本語訳詞では比喩を使わず、結果的に英語原詞と日本語訳詞が同様の意味になるよう訳出されている。例えば以下がそれに該当する。

- ・ A kingdom of isolation, and it looks like I'm the Queen (孤独の王国、そして私はそこの女王みたいね。) → 「真っ白な世界に一人の私」
- ・ It's funny how some distance makes everything seem small (少しの距離が全てを小さく見せてくれるなんて なんて滑稽) → 「悩んでたことは嘘みたいで」
- ・ No right, no wrong, no rules for me, (正しさも、間違いも、ルールも私にはない) → 「そうよ、変わるのよ」

日本語訳詞においては比喩表現ではなく直接的な描写をしている。この手法は、比喩まで忠実に翻訳していた中国語訳詞とは対照的である。

このように日本語訳詞が原曲の歌詞の内容を削除している様子を観ると、中国語訳詞は「形式的等価」を実現しているのに対し、日本語の訳詞は「動的等価」を目指しているといえる<sup>(4)</sup>。しかし、同じ情報を伝える時に、異なる言語の間で必要とされる音の長さに違いがあることはつとに知られており、内容を削ってもなお歌詞の伝える内容を盛り込むのは容易なことではない。そうした意味で、英語と日本語の音節構造の違いを乗り越えて実に巧みな訳になっていると言えよう。

### 1.3 “Let It Go” における日中の違いについて

本章では“Let It Go”の英語版歌詞を基準に中国語版と日本語版を検討した。中国語の訳詞は原文にかなり忠実に作られ、歌詞をメロディに乗せるために原詞にはない表現が補われているのに対し、日本語の訳詞は内容の削除と比喩の意識によって歌詞全体の方向性を損なわぬよう配慮されていたことを確認した。換言すれば、中国語訳詞はナイダの翻訳理論でいう「形式的等価」を実現しているのに対し、日本語訳詞は「動的等価」を目指していると言えよう。

ここから日本語の歌を中国語に訳す際は、多くの言葉を中国語で補う必要があり、中国語の歌を日本語に訳す時は、逆に大胆な意識や改編が求められることが想定されうる。いずれにせよ日中両語における歌詞の翻訳は直訳的に忠実な訳を作り、なおかつそれをメロディに乗せることは難しい。“Let It Go”の場合、ミュージカル映画のなかの重要なシーンであるため、その翻訳においても内容の改変には大きな制約がある。しかし、文脈から切り離されたシングル曲であれば、ある程度の改変の余地はあるものと思われる。それを踏まえ、次章ではいわゆる「桜ソング」の翻訳について考えたい。

## 2 「桜ソング」

「桜ソング」とは桜をテーマにした歌謡曲の総称である。「桜」に仮託して心情を歌うものが多く、桜の開花が春の卒業・入学シーズンに重なるため、別れや思い出の情景を入れることも多い。そのうち、より典型的なものには以下のようなものがある。コブクロ『桜』、ケツメイシ『さくら』、絢香『サクラ』、AKB48『10



年桜』、GReeeeN『桜 color』、西野カナ『SAKURA, I love you?』、MISIA『桜ひとひら』、Aqua Timez『さくら道』、Every Little Thing『サクラビト』、AKB48『桜の木になろう』、FUNKY MONKEY BABYS『桜』、JUJU『桜雨』、湘南乃風『ガチ桜』、大塚愛『さくらんぼ』、スピッツ『チェリー』、宇多田ヒカル『SAKURA ドロップス』、いきものがかり『SAKURA』、アンジェラ・アキ『桜色』、河口恭吾『桜』…これらはごく一部であるが、枚挙に暇が無く、アジア圏でも人気の歌手もテーマとして何らかの形で桜を詠った曲が必ずあると言ってよい<sup>(5)</sup>。それにもかかわらず、実際に「桜ソング」がカバーされている例は数えるほどしかない。しかも後述するように桜が情景として織り込まれたものは一握りしかない。

ここでは桜ソングをカバーした、福山雅治「桜坂」、森山直太朗『さくら（独唱）』を取り上げ、日本語原曲と中国語版の歌詞を比較してみたい。

## 2.1 福山雅治の「桜坂」

「桜坂」は、福山雅治のシングル曲で、ユニバーサルビクターから2000年4月26日に発売された。TBS系列で放映されたバラエティ番組『ウンナンのホントコ』の恋愛企画「未来日記V」のテーマソングとなっている。この「未来日記V」は台湾人女性と日本人男性の、言葉の通じない二人がスケッチブックを通じてコミュニケーションをとる物語がベースとなっている。よって「桜坂」はその成立から東アジア、とりわけ台湾が視野に入っていると見てよい。このことは「桜ソング」ではかなり例外的な状況にある。よって、他の「桜ソング」よりもカバーされやすかったものと思われる。以下に歌詞を対比するが、日中の歌詞は一見すると大きな違いが観られる。

表3 「桜坂」と《你快不快樂》の対照表

福山雅治「桜坂」	蘇有朋《你快不快樂》
君よずっと幸せに	我只想知道妳快不快樂
風にそっと歌うよ	有沒有遇見更懂妳的人
Woo Yeah	ooh-ya-
愛は今も	閉上眼風在吹
愛のままで	又是這個季節

揺れる木漏れ日 薫る桜坂 悲しみに似た 薄紅色 君がいた 恋をしていた 君じゃなきゃダメなのに ひとつになれず	偶然經過那條街 熟悉的氣味令人懷念 也許只有我的心 比當時老一點 錯過的從前 能不能回頭說抱歉 這麼些年我一直還記得 那些欠妳的誓言
愛と知っていたのに 春はやってくるのに Woo Yeah 夢は今も 夢のままで	我只想知道妳快不快樂 有沒有遇見更懂妳的人 ooh-ya- 陽光下好想念 妳微笑的眼神
頬にくちづけ 染まる桜坂 抱きしめたい気持ちで いっぱいだった この街で ずっとふたりで 無邪氣すぎた約束 涙に変わる	選好旅行的地点 才想起那是妳的心願 不知不覺 我始終把妳的話 放在我心裡面 錯過的從前 我好想對妳說抱歉 愛過的人還住在記憶中 一直沒有說再見
愛と知っていたのに 花はそっと咲くのに Woo Yeah 君は今も 君のままで	我只想知道妳快不快樂 有沒有遇見更懂妳的人 ooh-ya- 陽光下好想念 妳微笑的眼神
逢えないけど 季節は変わるけど 愛しき人 君だけが	愛恨都已不再 我只是不能不關心妳 我只是 想聽妳的聲音 錯過的從前

わかってくれた 憧れを追いかけて 僕は生きるよ  愛と知っていたのに 花はそっと咲くのに Woo Yeah 夢は今も 夢のままで  君よずっと幸せに 風にそっと歌うよ Woo Yeah 愛は今も 愛のままで	我好想對妳說抱歉 愛過的人 還住在記憶中 一直沒有說再見  我只想知道妳快不快樂 有沒有遇見更懂妳的人 ooh-ya- 閉上眼風在吹 又是這個季節  我只想知道妳快不快樂 有沒有遇見更懂妳的人 ooh-ya- 陽光下好想念 妳微笑的眼神
---	--

「桜坂」の歌詞は過去の恋愛を追憶する内容になっており、《你快不快樂》も今は会えない人に対する追慕の情を表現している。両曲は表現内容こそ異なるものの、似た心情を歌詞に込めているといえる。中国語の歌詞は、日本語の原曲の雰囲気崩壊を配慮している様子が随所に見られる。たとえば日本語歌詞の「揺れる木漏れ日 薫る桜坂」を“偶然經過那條街 熟悉的氣味令人懷念”（偶然にすぎたあの通りで、なじんだ香りに懐かしくなる）、「君は今も 君のままで」を“陽光下好想念 妳微笑的眼神”（陽光のもと 君が微笑したまなざしが恋しくなる）と訳しているが、やや抽象的な日本語の表現を中国語ではより具体的な表現に改め、受け手に同じ感情がわき上がることを目指した工夫がなされている。ここでも「動的等価」を実現する方策をもって訳詞が作られている。

しかし、「桜坂」では桜の咲いていた坂と春の情景を歌詞に盛り込んでいるが、《你快不快樂》では桜の要素は反映されていない。つまり「桜坂」では桜によって春の訪れを感じるのがうたわれているが、中国語版は“閉上眼風在吹、又是這個季節”（目を閉じると風が吹き、またこの季節がやってきた）の詞にあるように、季節の訪れを「風」で感じている点が異なる。日本語を中国語に直訳し、同じメロディに乗せた場合、字余りが生じるので、本来は歌詞を削る必要性はない。よって前述の英語“Let It Go”から日本語「ありのままで」に見られるような音節数

の上限を要因にした削除ではないものと思われる。やはり《你快不快樂》の「桜の要素」の削除は言語構造の違いによりなされたものではなく、言語的要因以外の理由があると推察される。

## 2.2 森山直太郎「さくら（独唱）」

では森山直太郎の「さくら（独唱）」のカバー曲に関する検討に入る。この曲には中国語圏に限定するだけでも4つのカバー・バージョンがあり、大陸の満文軍が《再会吧》、台湾の張善為が《真夏の櫻花》、さらに香港の蕭正楠が国語版《主題歌》、粵語版《假如我是假的》の題名でカバーしている。桜ソングに限定せずとも、同一曲で4つのカバーがあるというのは例外的であり、中華圏で人気の楽曲と言えよう。だがこの4つのカバーは歌詞の内容が異なる。次節以降、それらを比較しながら考察する。

### 2.2.1 満文軍《再会吧》

大陸出身の歌手・満文軍の《再会吧》は李焯雄の作詞でカバーされ、2004年に発表されたアルバム《思念的季节／我听》（新索音乐より発売）に収録されている。以下に、「カバー曲の主題」と「桜の要素」の反映という点に絞って考察する。まずは表4の対照表を参照されたい。

表4 「さくら（独唱）」と《再会吧》の対照表

森山直太郎「さくら（独唱）」	満文軍《再会吧》
僕らはきっと待ってる	时间的河 一声声春雨落
君とまた会える日々を	教室里琴键在弹着 这首歌
さくら並木の道の上で	那最后一课 明明说好再见的
手を振り叫ぶよ	那你和我 失去联络
どんなに苦しい時も	夏日似火 骚动心里角落
君は笑っているから	第一次觉得爱没忘记我
挫けそうになりかけても	握住她的手感觉世界属于我
頑張れる気がしたよ	但她身边 现在不是我
霞みゆく景色の中に	拥有也失落也许有舍才有得许多

<p>あの日の唄が聴こえる</p> <p>さくら さくら 今、咲き誇る 刹那に散りゆく運命と知って さらば友よ 旅立ちの刻 変わらないその想いを 今</p> <p>今なら言えるだろうか 偽りのない言葉 輝ける君の未来を願う 本当の言葉 移りゆく街は まるで 僕らを急かすように</p> <p>さくら さくら ただ舞い落ちる いつか生まれ変わる瞬間を信じ 泣くな友よ 今 惜別の時 飾らないあの笑顔で さあ</p> <p>さくら さくら いざ舞い上がれ 永遠にさんざめく光を浴びて さらば友よ またこの場所で会おう さくら舞い散る道の さくら舞い散る道の上で</p>	<p>如果最后种不出结果</p> <p>再会吧 再会吧 干了这杯再出发 那些时光被你点亮 只要回想还温暖 再会吧 再会吧 希望永远是在前方 我想念的 希望你们都无恙</p> <p>悲伤的歌 我们都唱过太多 浮华落尽才明白对与错 秋收后冬藏 换了别人在身旁 走在那 还是一样的阳光 拥有 也失落 要有舍 才有得 许多如果 也不必有效果 再会吧 再会吧 干了这杯再出发 那些时光你为我点亮 回想好温暖 再会吧 我们再会吧 希望永远是在前方 我想念的 希望你们都无恙</p> <p>再会吧 再会吧 转一个弯在何方 懂得欣赏遗憾 也许才看见真的圆满 再会吧 我们再会吧 希望永远是在前方 想念我的 愿生命为你在 想念我的 愿生命为你在发光</p>
--	---

以上のように《再会吧》には「教室」、「最后一课」といった語が出てくることから、学び舎を後にする友との再会、未来への明るい希望を歌っていることが分かる。この情景は原曲の「さくら（独唱）」と一脈通じるものがある。日本語歌詞にある「永遠にさんざめく光をあびて」と「愿生命为你在发光」は、これらの歌詞が乗せられるメロディこそ違おうが、原曲の内容を意識して反映させている。そうした意味で、カバー版の歌詞は原曲の趣を汲み取って昇華させており、まさに「動的等価」の実現を十分に意識して翻訳されている。

ただ、原曲の「桜の要素」は、カバー版には含まれていないばかりか、花の要素さえもカバー曲には出てこない。これは日中での卒業時期が異なることや、中国では桜はおろか、別れのシーズンを象徴する花が各地で異なる、あるいは中国

全土でイメージされる象徴的な花が存在しないことが考えられる。

### 2.2.2 張善為《真夏の櫻花》

さて森山直太郎の「さくら（独唱）」の漢語カバー曲を教材として使った実践例として、植村麻紀子（2015）がある。

「張善為という歌手が、森山直太郎の「さくら（独唱）」を《真夏の櫻花》（真夏の桜）というタイトルでカバーしている。この歌詞を日本語に訳し、原曲の日本語と比較。歌の内容をふまえた上で、タイトルになぜ「真夏の」が入っているのか考えさせた。中国語バージョンでは友人たちとの別れを歌った曲になっているが、中国では9月が新学期で夏は別れの季節である。」

ここでは単に学年暦が日本と台湾では異なることを伝えるだけでなく、その違いがもつ意味を考察させる意図をもっている。これを具体的に分析するために、表5の歌詞の内容の違いを確認してみよう。

表5 「さくら（独唱）」と《真夏の櫻花》の対照表

森山直太郎「さくら（独唱）」	張善為《真夏の櫻花》
僕らはきっと待ってる	笑一個吧 親愛的朋友阿
君とまた会える日々を	把悲傷留在昨天 鎖上
さくら並木の道の上で	還記得那些 我們說過的夢想
手を振り叫ぶよ	你的笑臉 燦爛如花
どんなに苦しい時も	總有一天你我會再見面阿
君は笑っているから	雖然要像這櫻花各奔天涯
挫けそうになりかけても	歲月或許會改變你我的模樣
頑張れる気がしたよ	我的思念永不放假
霞みゆく景色の中に	明天的世界 等待我們擁抱它
あの日の唄が聴こえる	在我心中 裝著你祝福的話
さくら さくら 今、咲き誇る	sakura sakura 灑滿青春的魔法
刹那に散りゆく運命と知って	擦乾眼淚說聲再會 都是成長的代價
さらば友よ 旅立ちの刻	sakura sakura 昂首風雨中

<p>変わらないその想いを 今          今なら言えるだろうか          偽りのない言葉          輝ける君の未来を願う          本当の言葉 移りゆく街は          まるで 僕らを急かすように</p> <p>さくら さくら ただ舞い落ちる          いつか生まれ変わる瞬間を信じ          泣くな友よ 今 惜別の時          飾らないあの笑顔で さあ</p> <p>さくら さくら いざ舞い上がれ          永遠にさんざめく光を浴びて          さらば友よ またこの場所で会おう          さくら舞い散る道の          さくら舞い散る道の上で</p>	<p>有愛我最大          期待他日花開の季節裡 回家</p> <p>總有一天你我會再見面阿          雖然要像這櫻花各奔天涯          歲月或許會改變你我的模樣          我的思念永不放假          明天的世界 等待我們擁抱它          在我心中 裝著你祝福的話          sakura sakura 灑滿青春的魔法          擦乾眼淚說聲再會 都是成長的代價          sakura sakura 昂首風雨中 有愛我最大          期待他日花開的季節裡 回家</p> <p>sakura sakura 灑滿青春的魔法          擦乾眼淚說聲再會 都是成長的代價          sakura sakura 昂首風雨中 有愛我最大          期待他日花開的季節裡</p> <p>sakura sakura 灑滿青春的魔法          擦乾眼淚說聲再會 都是成長的代價          sakura sakura 昂首風雨中          有愛我最大          期待他日花開的季節裡 回家</p>
--	---

日本の春は進学や就職などをきっかけとした別れと出会いの季節であり、その社会的な動きに連動して桜ソングは、別れと出会い、そして過去への追憶を主題とすることが多い。「さくら（独唱）」もその例に漏れず、惜別と再会を主題としている。この点で《真夏の桜花》も離別と思い出を描き、夏には桜が咲かないにもかかわらず題名に敢えて“真夏”を付け加え、さらに歌詞のかなにも卒業シーズンに咲くはずのないSakuraを入れることで、日本の卒業シーンと台湾の卒業シーンを重ね合わせている。さらに台湾版の歌詞は、日本の情景や卒業に際しての心情、そして未来での再会までも歌詞に織り込んでおり、舞台を台湾に置き換えながらも日本語の歌詞や主題を忠実に中国語で再現する意図が読み取れる。《真

夏の櫻花》は桜ソングの海外でのカバーで、唯一、桜が盛り込まれている楽曲であるが、いささか過剰ともいえるほど原曲を意識している。

### 2.2.3 国語版《主題歌》

一方、以下の蕭正楠《主題歌》は「さくら（独唱）」のカバー曲であるが、《夏の櫻花》に比べると歌詞の内容が大いに異なる。カバー曲には別れを思わせる内容もなく、桜の要素もない。

表6 「さくら（独唱）」と《主題歌》の対照表

さくら（独唱）	《主題歌》
僕らはきっと待ってる 君とまた会える日々を さくら並木の道の上で 手を振り叫ぶよ どんなに苦しい時も 君は笑っているから 挫けそうになりかけても 頑張れる気がしたよ 霞みゆく景色の中に あの日の唄が聴こえる	就這樣吧 夢想重新開始吧 人生有許多階段要去闖 就算到一個完全都陌生的地方 也會有 熟悉的陽光 我不害怕 因為我都知道 在每一個人心深處的地方 都有一個夢 蠢蠢欲動在發亮 帶領我們 勇氣去探勘 如果我太倔強 還請你多包涵 請你給我支持的力量
さくら さくら 今、咲き誇る 刹那に散りゆく運命と知って さらば友よ 旅立ちの刻 変わらないその想いを 今	我不怕 我不怕 站在舞台的中央 自己人生的主題歌 自己去詮釋演唱 每一句 每一段 都有自己真實的感想 把感動落在過程共鳴的心上
今なら言えるだろうか 偽りのない言葉 輝ける君の未来を願う 本当の言葉 移りゆく街は まるで 僕らを急かすように さくら さくら ただ舞い落ちる	我不害怕 因為我都知道 在每一個人心深處的地方 都有一個夢 蠢蠢欲動在發亮 帶領我們 勇氣去探勘 如果我太倔強 還請妳多包涵 請妳給我支持的力量 我不怕 我不怕



いつか生まれ変わる瞬間を信じ 泣くな友よ 今 惜別の時 飾らないあの笑顔で さあ さくら さくら いざ舞い上がれ 永遠にさんざめく光を浴びて さらば友よ またこの場所で会おう さくら舞い散る道の さくら舞い散る道の上で	站在舞臺的中央 自己人生的主題歌 每一句 每一段 都有自己真實的感想 把感動落在過程共鳴的心上 我不怕 我不怕 站在舞臺的中央 自己人生的主題歌 每一句 每一段 都有自己真實的感想 把感動落在過程共鳴的心上 把感動落在你我共鳴的心上
--	---

国語版の題名は《主題歌》となっており、新天地に赴く意気込みが歌われている。そしてそのことが自分自身の「主題歌」を新たな人生の舞台で歌うことに象徴されている。この楽曲は、満文軍《再会吧》と張善為《真夏の櫻花》に比べ、別れの場面を想起させる歌詞は盛り込まれておらず、別れの叙情は背景化している。そして「桜の要素」もなく、何らかの花も描かれていない。しかし、別れのあとは旅立ちがあることから、主題をずらして表現しているともいえ、全く原曲を無視した訳詞であるとはいえない。

#### 2.2.4 粵語版《假如我是假的》

香港の蕭正楠による粵語（広東語）版は、題名が「もし私がニセ者なら」となっており、その歌詞は、国語版はもとより、《真夏の櫻花》とも異なっている。以下にそれを観てみよう。

表7 「さくら（独唱）」と《假如我是假的》の対照表

さくら（独唱）	《假如我是假的》
僕らはきっと待ってる 君とまた会える日々を さくら並木の道の上で 手を振り叫ぶよ どんなに苦しい時も 君は笑っているから 挫けそうになりかけても	都為你好 才不忍心傾吐 旁人將陰影都揭露 會自豪 言而我擅長換上那風景大海報 世事難存 為你修補 不用再數 言而多不勝數 明明講非卿不愛 未敢擔保 來年有沒旁驚 我不可預測到

<p>頑張れる気がしたよ</p>	<p>言而我會說 期望被你抱</p>
<p>霞みゆく景色の中に あの日の唄が聴こえる さくら さくら 今、咲き誇る 刹那に散りゆく運命と知って さらば友よ 旅立ちの刻 変わらないその想いを 今</p>	<p>如何如實說 我實在未夠好 發過誓但沒信心可以做到 為你好 待你好 最好才會這麼糟 美麗情話情願假借吧 如果真的不夠好 地會老 天會老 甜言蜜語卻永不衰老 如實細訴真的我也許太枯燥</p>
<p>今なら言えるだろうか 偽りのない言葉 輝ける君の未来を願う</p>	<p>假若看真 原來真心不吸引 原來誇張的曲聲 更動人 為何要嚴刑讓你保護的人 難過到 明了事實極悔暗</p>
<p>本当の言葉 移りゆく街は まるで 僕らを急かすように さくら さくら ただ舞い落ちる いつか生まれ変わる瞬間を信じ 泣くな友よ 今 惜別の時 飾らないあの笑顔で さあ</p>	<p>如何如實說 我實在未夠好 發過誓但沒信心可以做到 為你好 待你好 最好才會這麼做 美麗情話情願假借吧 如果真的不夠好 地會老 天會老 甜言蜜語卻永不衰老 如實細訴真的我也許太枯燥</p>
<p>さくら さくら いざ舞い上がれ 永遠にさんざめく光を浴びて</p>	<p>為你好 待你好 每日才有戲好做 試問誰願承受真說話 如果假的比較好</p>
<p>さらば友よ またこの場所で会おう</p>	<p>地會老 天也會變老 甜言蜜語卻永不衰老</p>
<p>さくら舞い散る道の さくら舞い散る道の上で</p>	<p>誰又愛聽它真相太恐怖 如實細訴只恐怕你感到更苦惱</p>

訳詞の内容は殆ど原曲の姿を留めているとは言えないが、別れというテーマで辛うじて一脈を通じている。なお粵語版は発音が広東語であり、語彙も粵語が反映されているので、取り立てて粵語を学習する意図がないなら、普通話の教材には向かない。

おわりに

日本のポップスとして「桜ソング」は一つのカテゴリーをなしていたが、桜ソ

ング全般をみた場合、中国大陸でカバーされる場合は「桜」の要素が盛り込まれないことが多い。その意味で台湾の《真夏の桜花》は、日本の桜ソングがそのまま桜を翻訳歌詞に持ち込んだものとして、異例の曲とも言える。この曲は台湾の歌手がカバーしており、一義的に台湾の消費者を想定しているものと思われる。もちろん台湾にも桜のイメージと植民地支配のイメージが重なる部分もあるかと思われるが、日本文化の浸透度の違いからか、相対的に桜のイメージを受け入れやすい土壌があるものと思われる。

石井康一（2000）は日本の曲が中国でカバーされる時、歌詞はほとんど反映されないことを指摘する。「形式的等価」のみを歌詞の反映とみるなら確かにその通りだが、「動的等価」までを翻訳と考えた場合、文化の違いが出やすい桜ソングのカバーであっても原曲がもつ情緒を異なる言語の文脈のなかで反映させ、聴き手をして同じ感興を演出していると言える。それにしてもなぜ中国語圏でカバーされる桜ソングは少なく、しかも桜が出現しないのであろうか。本稿では三つの点から考察したい。

- (1) 音節数の違い
- (2) 日本と中国における景観の違い
- (3) 日本人と中国人における桜のイメージの違い

(1) については、日本語から中国語への翻訳は、音節構造や拍の違いがあり、日本語を中国語に翻訳した場合、メロディに対する音の数が足りなくなってしまう。例えば喜納昌吉の「花～すべての人の心に花を～」は中国語に直訳すれば歌詞がメロディに乗るだけの音節数を確保できない。同曲のカバーである周建華《花心》が全く異なったストーリーに仕立て上げられたのは、同じ意味を伝えるために要する音節数の違いがあるものと考えられる。しかし、これは「桜の要素」がなくなってしまう理由とはならない。それは日本語歌詞を中国語へ翻訳する際は、歌詞を削る必要がないからである。「桜の要素」を中国語に盛り込んだとしても音節数が足りなくなるということはないのである<sup>(6)</sup>。

では、(2) の日本と中国における景観の違いはどうであろうか。確かに中国では桜の風景は一般的とは言いがたい。中国における桜は、様々な由来があり、日本軍の占領地域に桜を植樹したものもあれば、戦後、中国と日本の自治体間の姉妹都市提携に基づく交流において、日本の団体が中国の団体に桜を贈ったものが

根付いているものもある。それであっても、それが中国人の眼に中国の典型的な風景と認識されているとはいえないだろう。桜ソングのカバー曲に桜の風景が盛り込まれない理由の一つとさえそうである<sup>(7)</sup>。また、日本の桜は別れのシーズンにつながっているが、中国での別れのシーズンといえば秋である。

最後に(3)の中国人が抱く日本の桜のイメージが、桜ソングから「桜の要素」を捨象する要因となっている可能性について論じたい。桜は日本における歴史的な文脈において、他の花とは異なる特別な意味合いが付与されてきた。大貫恵美子(2003)では桜と軍国主義を<sup>(8)</sup>、桂英史(2013)も桜と軍歌との関係に言及している。そして、中国では桜と日本人というテーマにおいては、潔く散る桜と日本人の死生観、そして靖国神社の桜と軍国主義の関係に言及するものも少なくない。それは近年に書かれる日本論の論著でも同様で、中国で2010年代以降に発表されたものだけでも桜と日本の軍国主義に言及するものは応接に暇がない。「桜と日本人」は中国においても実にありふれたテーマであるだけに、容易に日本人との死生観、武士道、軍国主義にたどりつく。さらに現在、桜の名所として知られる武漢大学も、桜の植林の嚆矢が占領期の日本軍によるものであることから“国耻的象征”とされることもある。現在では、1939年当時の桜はすでになく、戦後から植林されたものと日中国交回復後に日本から贈られたものに入れ替わっている<sup>(9)</sup>。しかしそうであっても、中国における桜の由来をたどれば、占領期に植林が行われた事実は消えない。

こうした日中における歴史的な背景が、桜ソングの翻訳に影響を与えたと断ずるのはあまりに拙速に過ぎるが、桜には長い歴史のなかで様々なイメージが付いており、現代の一般的な日本人が桜を観賞する心情と同じように中国に眺められているとは限らない。講義においては、カバーソングを単に言語的な違いや翻訳論を説明する素材として扱うだけでなく、桜の異文化論的側面にも言及する必要がある。

## 注釈

- (1) 松尾隆・加藤徹(2007)、櫻井拓也・小川快之(2011)参照。
- (2) 歌詞に使われる中国語には規範から外れる用法(例えば、“我们走在大路上”や“云儿飘在海空”)もあることが《学汉语》編集部(2012:7-8)で指摘されている。一方で、小川快之(2010)は、中国語の授業における歌詞の使用について、

声調のみだれやレベルを逸脱した単語の存在などの問題がある一方で、選曲と練習次第でピンイン、プロソディ、文法・語彙習得に効果がある可能性を指摘する。なお、中国語の歌では“的”、“地”、“着”、“了”など助詞の発音が、通常の会話と異なることがつとに知られているが、近年はそれも通常の会話の発音に近づいている(稲垣智恵(2018))。ちなみに本稿で扱った《随它吧》、張善為(台湾)の《真夏の櫻花》における“的”はいずれもdeと発音している。

- (3) 国花(National Flower)の扱いは国や地域によって異なる。フィリピンやメキシコ、イングランドのように特定の花の種類を法律に定める国や地域がある一方、日本のように法律の定めがないところもある。三省堂『大辞林』(第3版)「国花」の項では「日本では桜あるいは菊」と書かれる。なお中国の国花は2018年時点で未だ選定されていない。
- (4) 翻訳の等価理論において、「動的等価」と「形式的等価」を提示したのはナイダ(1972)を嚆矢とする。動的等価とは目標言語で理解しやすい形で翻訳することで等価性を実現するもので、形式的等価とは言語に近い形で翻訳することで等価性を担保するものである。
- (5) シングルとして売り出されていないけれども、アルバムのなかに入っていることも多い。
- (6) 日本のサブカルチャーが輸入されている韓国でも、翻訳になると歌詞から「桜」の要素が消える例が多い。例えば、河口恭吾(2003)の「桜」は、翌年の2005年には「서신(手紙)」という曲名で박혜경(パク・ヘギョン)によってカバーされている。韓国語カバーにおいてもラブソングであることには変わらないが、「桜」の要素はなくなっている。日本語と中国語では音節構造が似ているため、この改変は言語の違い起因するものではないと考えられる。
- (7) しかし中国や台湾の風景になじまなくても、彼の地でヒットしたカバー曲がある。それは中島美嘉の「雪の華」をカバーした、韓雪の《飄雪》である。だがこれは日本の伊豆が歌詞に登場するため、中国の風景として受け入れられたものとは言いがたい。
- (8) 例えば、大日本帝国海軍の徽章には「桜と錨」が描かれ、軍歌「同期の桜」も、日本の軍人が戦死する様子を桜が散る様子に喩え、「離れ離れに 散ろうとも 花の都の靖国神社 春の梢に咲いて会おう」と歌うことは夙に知られる。その一方で、八原博通(2015)にあるように、「桜花の如く散らんとする弱さが、歯がゆい」と述べるように、死を目前とした当事者には様々な受け取り方がある。
- (9) 武間(2015)参照。

## 参考文献

- 石井康一(2000)「中国語の歌にみる異文化としての中国：中華人民共和国の愛唱歌を中心に」『言語と文化』4：107-119.
- 稲垣智恵(2018)「普通話流行歌における“的／地”“了”“着”の発音の変遷について」日本中国語学会メールマガジン第146号(2018年9月30日配信)
- Pope Edgar W.(2017)「音楽翻訳：歌詞の翻訳における問題と可能性(「通訳翻訳研

- 究所」開設記念キックオフセミナーの講演に基づく論文)、『ことばの世界：愛知県立大学高等言語教育研究所年報』9：23-33。
- 植村麻紀子 (2015) 「翻訳の授業におけるレアリア活用の意義」『神田外語大学紀要』27：243-262.
- 大貫恵美子 (2003) 『ねじ曲げられた桜—美意識と軍国主義』東京：岩波書店.
- 小川快之 (2010) 「中国語授業における歌の活用の有効性について」『言語文化論叢』4：87-92.
- 桂英史 (2013) 「桜は世につれ、世は桜につれ：「桜ソングス」序説」『映像メディア学 東京藝術大学大学院映像研究科紀要』4：5-49.
- 櫻井拓也・小川快之 (2011) 「外国語教育における歌の活用と異文化理解について：J-POPのカバー曲を使った試みを中心に」『異文化コミュニケーション研究』23：101-119.
- ナイダ, ユージン (1972) 『翻訳学序説』東京：開文社出版.
- 八原博通 (2015) 『沖縄決戦—高級参謀の手記』東京：中央公論新社
- 松尾隆・加藤徹 (2007) 『中国語で歌おう！J-POP編』東京：アルク
- 《学汉语》编辑部 (2012) 《外国人汉语学习难点全解析 第二册》北京：北京语言大学出版社.
- 武文 (2015) 《武大櫻花的来历》《小康》2015年04